

法第 43 条第 2 項第 2 号に基づく許可申請に添付する書類について

- ・委任状の作成について
様式 2 を使用して作成してください。
- ・許可申請理由書の作成について
様式 3 を使用して作成してください。
- ・添付図面について
確認申請書に添付する図面を作成してください。
許可基準 3-1 の場合、配置図に道路後退について明確に記載すること。
許可基準 3-3 で用途地域の定めのある地域の場合、外壁・軒天の構造について記載すること。
- ・通行承諾書等の作成について
様式 4 を使用して作成してください。
道が自己所有地のみの場合を除いて全ての許可申請書に添付が必要になります。
道の所有者（管理者）から承諾を得ます。所有者が死亡し土地登記簿の名義変更がない場合は、相続人全員から承諾を得ます。
関係権利者の欄には対象の土地（道部分）の地名地番、地目、共有持分割合、承諾者氏名、現住所、承諾日を記載し、承諾印を押印する。承諾印には実印を使用し、印鑑証明書を添付すること。
- ・誓約書の作成について
許可基準 3-1 にあっては、誓約書（様式 5）を使用して作成してください。
道と道に面して後退が必要な全ての土地・建物所有者から誓約を得ます。所有者が死亡し土地登記簿の名義変更がない場合は、相続人全員から誓約を得ます。
誓約書の本文には、道の位置、道路後退部分の距離等を記載します。
関係権利者の欄には道部分の土地・後退が必要な敷地・家屋の所有権の別を記入し、地名地番、共有持分割合、誓約者氏名、現住所を記載し、誓約印を押印する。誓約印には実印を使用し、印鑑証明書を添付すること。
なお、喉元角地の所有者からも誓約を得ること。ただし、誓約を得られない場合は、道路後退について説明を行い誓約印の欄に説明済と記載すること。

許可基準 3-2、3-3、3-4 にあっては、誓約書（様式 6）を使用して作成してください。
道の所有者等から誓約を得ます。所有者が死亡し土地登記簿の名義変更がない場合は、相続人全員から誓約を得ます。
誓約書の本文には、道の位置を記載します。
関係権利者の欄には対象の土地（道部分）の地名地番、地目、共有持分割合を記載し、誓約者の氏名・現住所を記載し、誓約印を押印する。誓約印には実印を使用し、印鑑証明書を添付すること。

委任状

代理人住所 横手市□□□町□□一□

代理人氏名 □□ □□

私は、都合により上記の者を代理人と定め、建築基準法第43条第2項第2号の規定による許可申請の手続きを委任します。

記

- 敷地の地名地番 横手市○○○○町○○○
- 建築物の主要用途 専用住宅
- 工事種別 新築

○○年 ○月○○日

申請者住所 横手市○○○○町○○○

申請者氏名 ○○ ○○

特定行政庁 横手市長 ○○ ○○ 様

申請者住所 横手市○○○○町○○○

申請者氏名 ○○ ○○

申請理由書

このたびの申請場所である、横手市○○○○町○○○に建築を計画しましたが、敷地の接する道が建築基準法の道路に該当しないことが判明しました。そのため、この部分を同法第43条第2項第2号および同法施行規則第10条の3第4項各号に該当するものとして取り扱っていただきたく許可申請をします。

なお、本許可申請において問題等が発生した場合は、当方で処理解決にあたります。

1 敷地の地名地番 横手市○○○○町○○○

2 建築物の主要用途 専用住宅

3 工事種別 新築

4 その他（経緯等）
(例) 現在の住宅は築約35年になり、また世帯が増えることになり既存住宅が手狭になり、建替えを計画しているところです。

前面道路は、○○○○他3名の所有地であることから全員より通行承諾を得ております。また、前面道路の幅員が4m未満のため中心より2mの道路後退を行い、関係者の同意を得た誓約書も併せて提出いたします。

通行承諾書

申請者

〇〇 〇〇 様

建築基準法第43条第2項第2号の規定に基づく許可申請をするにあたり、下記記載の土地、又は土地の一部を恒久的に通行および使用することを関係権利者全員で承諾します。
ついては、この土地の所有権等を相続、又は第三者に権利を移動する場合、本承諾の義務は責任をもって継承します。

なお、諸問題が発生した場合は、当事者間で民事的に処理するものとします。

事前協議に提出した登記簿等にあわせる。

記

Table with 7 columns: 地名地番, 地目, 共有持分割合, 氏名, 現住所, 承諾日, 承諾印. Includes a header '関係権利者(土地所有者等)' and a note 'この機会に公衆用道路に変更することが望ましい。(ただし、強制するものではない)'.

承諾印をもらった日付を記載。

(注意)

- 1. 関係権利者が個人の場合、氏名および現住所については、署名とすること。
2. 申請者は、本書の写しを関係権利者全員に配布すること。
3. 印鑑証明書を添付すること。

記入例 (許可基準3-1の場合)

(様式第5号)

誓約書

※※年 ※月 ※※日

(提出先)

横手市長

誓約した(提出する)日を記載。

横手市○○○○町○○○、○○地先に存在する道に関連して、次の事項について誓約いたします。

道の位置を記載。

中心か反対側かを記載。

記

中心なら 2.0m。
反対側なら 4.0mと記載。

- 敷地及び家屋所有者にあつては、上記の道の中心から水平距離 2.0 m の部分を、将来にわたり道路状に維持、管理すること
- 道の所有者にあつては、上記の道の現道幅員 3.0 m から 3.2 m の部分を将来にわたり道路状に維持、管理すること
- 許可申請地においては、将来にわたり許可基準に従つて敷地及び建築物を維持、管理すること
- 敷地又は建築物及び道部分を第三者に転売する場合にあつては、本誓約内容について継承すること

事前協議に提出した登記簿等にあわせる。

関係権利者 (土地所有者等)					
所有権 (道、敷地、家屋) の記入	地名地番	共有持分割合	氏名	現住所	誓約印
道	○○-○	1/2	○○ ○○	横手市○○○○	印
道	○○-○	1/2	共有の場合持分割合を記入。○○		印
家屋	××-×		△ △△	湯沢市△△△△	印
家屋	※※-※		※※ ※※	横手市※※※※	印
家屋	××-×		×× ××	横手市××××	印
敷地	▽▽-▽		▽▽ ▽▽	横手市▽▽▽▽	印
敷地 (喉元)	▽▽-▽		▽▽ ▽▽	横手市▽▽▽▽	説明済

後退部分に既存住宅がある場合は、家屋。
無い場合は敷地として記載し、その所有者が承諾する。両方の場合は、敷地 (家屋) とする。

喉元敷地の場合は、所有権の欄にその旨を記載する。

(注意)

- 関係権利者が個人の場合、氏名および現住所については、署名を捺印すること。
- 申請者は、本書の誓約書に署名捺印し、関係権利者全員に署名捺印を依頼すること。
- 印鑑証明書を添付すること。

喉元の所有者からも誓約を得ること。
ただし、誓約を得られない場合は、誓約印の欄に説明済と記載する。

記入例 (許可基準3-2、3-3、3-4の場合)

(様式第6号)

※※年 ※月※※日

(提出先)
横手市長

誓約した(提出する)日を記載。

横手市○○○○町○○○、○○地先に存在する道に関連して、次の事項について誓約いたします。

道の位置を記載。

記

- 当該幅員4.5mから5.0m部分の道を将来にわたり道路状に維持、管理すること
- 将来にわたり許可基準に¹て、敷地及び建築物を維持、管理すること
- 敷地又は建築物及び²(一定であれば一方だけ)の場合にあつては、本誓約内容について継承すること

道の現在の幅員を記載。

事前協議に提出した登記簿等にあわせる。

地名地番	地目	共有持分割合	氏名	現住所	誓約印
○○-○○	公衆用道路	1/2	○○ ○○	横手市○○○○	印
○○-○○	公衆用道路	1/2	○○ ○○	横手市○○○○	印
△△-△△	宅地		△△ △△	湯沢市△△△△	印
※※-※※	公衆用道路		※※ ※※	横手市※※※※	印

(注意)

- 関係権利者一人の場合、氏名および現住所については、署名とすること。
- 申請書の写しを関係権利者全員に配布すること。
- 印を捺すこと

この機会に公衆用道路に変更することが望ましい。
(ただし、強制するものではない)